

JR西日本の長距離観光特急列車

柳井駅で「銀河」おもてなし

歓迎イベント 鉄道ファンら250人集まり、運行開始喜ぶ



JR柳井駅に到着した「銀河」

JR西日本の長距離観光特急列車「ウエストエクスプレス銀河」の山陽コース(大阪1下関間)の上り線運行が13日から始まった。この日、県内唯一のおもてなし駅となったJR柳井駅では、歓迎イベントがあり、乗客に対しての特産品販売や伝統文化の披露などが行われた。また、銀河の停車を聞きつけた約250人の市民や鉄道ファンがホームに詰めかけ、その人気ぶりを伺った。

この日、銀河到着を前に、柳井駅1番ホームでは、運行開始セレモニーがあった。JR西日本山口支社の真辺浩治支社長が「この銀河が柳井駅に停車することで、今後柳井に人が訪れることを期待したい。そして、銀河が多くの人に愛され、利用されることを望みたい」とあいさつし、井原健太郎市長も「この運行が新たな交流が始まる日となることに期待したい」と歓迎した。続いて、運行開始を記念し、元JR社員で日本絵手紙協会講師の富田房成さん(84・田布施町波野)が手がけた白壁壁画の除幕式が行われた。1番ホームの改札口そばにある白壁掲示板に、富田さんが約20日かけ、5枚の和紙に顔彩を使って仕上げた横4・4メートル、縦1・2メートルの巨大絵画が飾られ、乗降客から注目を集めている。富田さんは「人通りのある白壁の町並みを描いた。活気のある明るく元気な町になってほしい」と期待を込めた。そして、午後1時前、31人の乗客を乗せ、西日本の海や空をイメージした深い青色「瑠璃紺」のカラー列車(6両編成)が3番ホームに到着。伊陸南山神社神楽保存会メンバーが、勇壮な神楽舞を披露したほか、観光ボランティアのスタッフが、金魚ちようちんなどを手に乗客を歓迎。ホームでは、柳井ブランドの特産品などが販売され、乗客たちに人気だった。



銀河停車を喜び、車両前で記念撮影する子供たち



運行開始セレモニーで披露された白壁壁画(右から2番目が作者の富田さん)



ホームに設けられた特産品販売コーナー



伊陸南山神社の神楽も披露した

記念撮影する光景が見られた。そして、停車時間の15分が経過し、銀河は次なる停車駅、岩国駅に向けて出発した。「ウエストエクスプレス銀河」今年9月11日にデビューし、11月まで山陰コースを運行。山陽コースは12月12日から始まり、年末年始を除き、来年3月11日まで、21往復運行される。乗車料金は、片道1人3万円程度(旅行プランによって異なる)。

下り列車(大阪発、下関着)の停車駅は16駅で、うち、福山駅がおもてなし駅となっている。一方、上り列車(下関発、大阪着)の停車駅は18駅で、柳井駅と倉敷駅がおもてなし駅となっている。柳井駅の停車時間は、12時50分〜13時5分までの15分間で、駅ホームでは特産品の販売(木・日曜日)のほか、日曜日には、地元の伝統芸能などが披露される。出演するのは、伊陸南山神社神楽保存会、月性剣舞保存会、阿月子ども神明太鼓、風鈴亭独楽助さんの3団体1個人。今後、柳井駅に到着する銀河(上り列車)は次の通り。

- ▼12月20日
- ▼1月10日
- ▼1月17日
- ▼1月21日
- ▼2月7日
- ▼2月14日
- ▼2月18日
- ▼2月25日
- ▼2月28日
- ▼3月4日
- ▼3月7日
- ▼3月11日



柳井駅を出発する銀河を見送る鉄道ファンら

元気アップ教室 参加者募集中
柳井市では、65歳以上の市民を対象とした「元気アップ教室」の参加者を募集している。内容は次の通り。

- ▼日時 1月13日〜3月31日(毎週水曜日、全12回)13時30分〜15時
- ▼場所 IIアアクアヒルやない 柳井市新庄
- ▼内容 II簡単な体操と運動器具による負荷の軽いトレーニングを組む

み合わせ、年齢た筋力アップし、作の維持・改善▼対象者 II 65歳以上、全12回、ユーをなるべし、ぎる人

ぶる

「ありがとう」ぶるぼん単会場のキャパは120人。800円、200円で、120切れるか?、共演者の名切っている。響も無いだろうが、僕はこ

外国

山口県教委 余田小 公開壇 教委主催の携英語教育開余田小学校(69)が参加した県中語科教諭ら約海外在住のオンラインで英会話を柳井地域(下)では今年度か高小、柳井西中余田小)が同指定されてお社会で活躍できる人材の育成の重要性を校種間のつた意識した英語充実を図る研わっている。